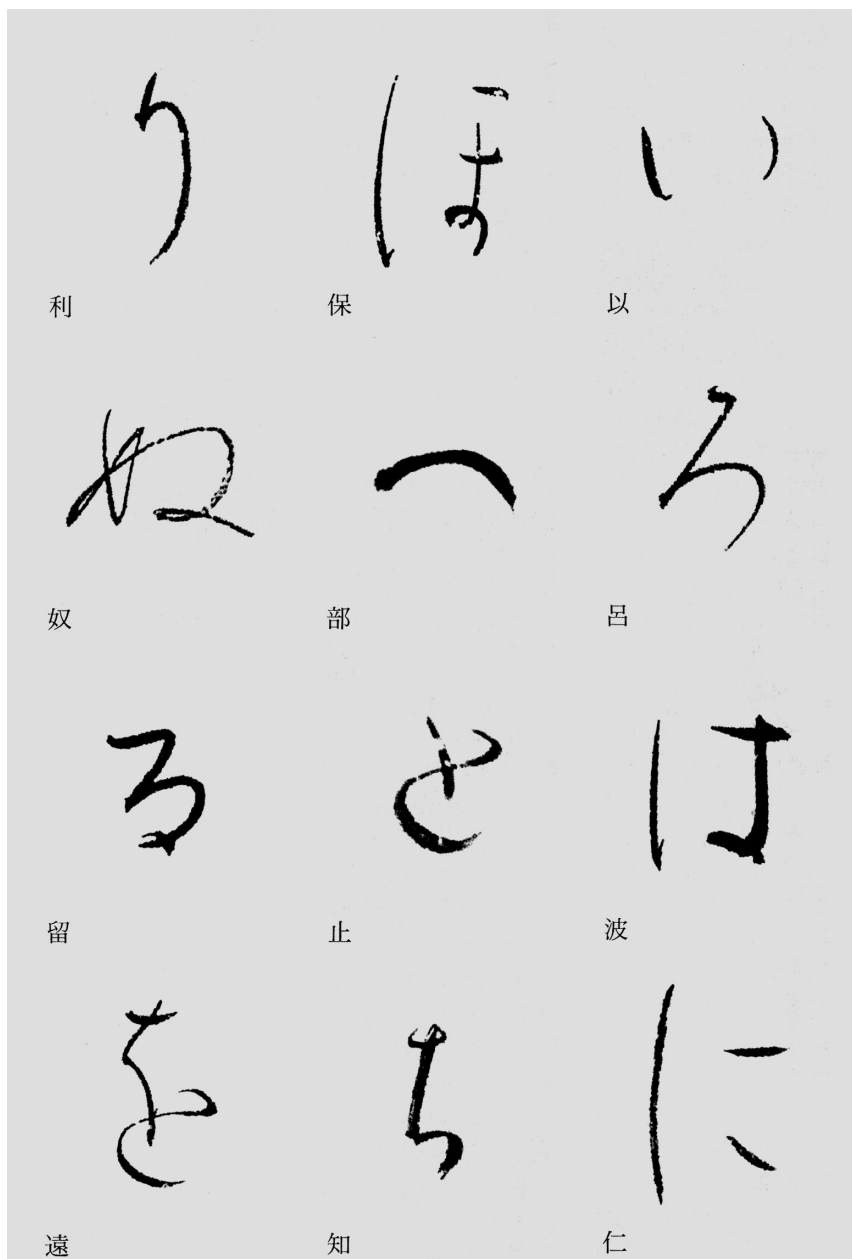


仮名 単体を学ぶ

締切り 一月二十五日(必着)



※高野切第三種から集字しました。
※活字は字母を示しています。

◎平安時代以来、一音についてたくさん
の仮名が使用されてきましたが、
明治三十三年(一九〇〇)、小学校令
により一字一音に整理、統一されま
した。この仮名を平仮名とよび、そ
れ以外の仮名を変体仮名とよび区別
しています。

◎仮名を習う場合、まず一字一字をしっ
かり習熟することが大切です。初心
の方はもちろん、ベテランの方も今
一度初心に返って仮名を学びましょ
う。

◎作品の出し方

上掲の図版で示した三行を書いて下
さい。

▼硬筆部 B5判(二五七mm×一八二
mm)程度の紙に書いて下さい。

※こどものひろば四行用紙も可。

※用具は自由(黒色に限る)

▼毛筆部 かな用半紙に臨書して下さい。
(拡大臨書可)

▼出品制限の対象とはしませんので、
どなたでも出品できますが、硬・毛
のどちらか一方に限ります。

▼支部名と氏名を必ず記入のこと。

▼優秀作品数点を、写真版として成績
表の後ろに掲載しますが、成績表で
の順位発表はしません。

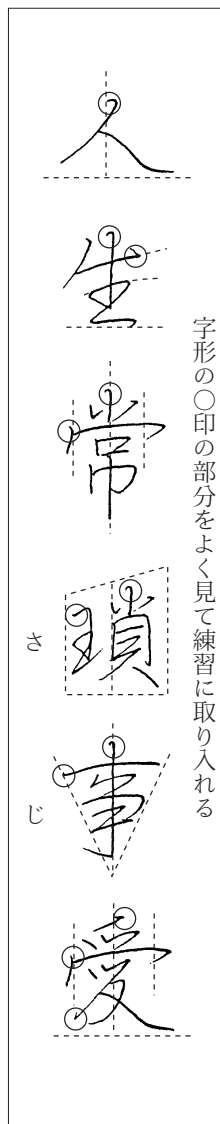
一般部規定課題

締切り 1月25日(必着)

準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



▶教範・書範は右課題を「楷書」で、師範は「行草または草書」で出書して下さい。

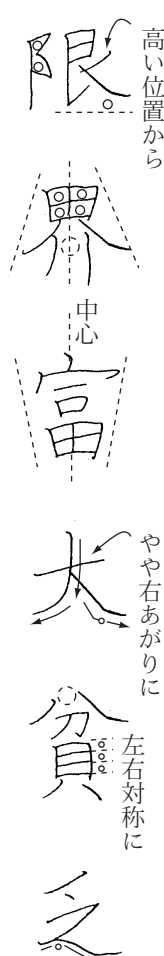
人生を幸福にする
ためには日常の
琐事を愛すること

おか だ りゅう ほう 書
岡 田 龍 芳 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会段位用紙

〔解説〕



	大	限
	き	界
エ	な	の
ピ	貧	な
ク	乏	い
ロ	だ	富
ス		は

おお たに せい じょう 書
大 谷 清 城 書

▷用具＝自由（黒色に限る）

▷用紙＝本会級位用紙

- ◆2月課題予告（行草または草書）
肉体の力は老いる
しかし善人の
精神の力は老いない
▼教範・書範Ⅱ行書
▼師範Ⅱ楷書

★人生を…（書体Ⅱ行書）
芥川龍之介（八五～五七）
大正時代の小説家
生活することの本質は、毎日毎日同じことを繰り返していくことです。人生は些細な出来事の積み重ねの上に築かれます。庭の花が咲いた、子供の背がのびた、昼ごはんがおいしかった：こうした平凡な日常の出来事を愛する人に幸福が訪れるのです。

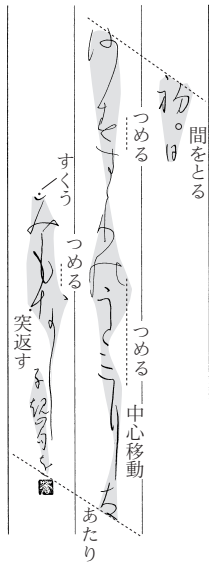
★限界の…（書体Ⅱ楷書）
エピクロス（前二頃～三頃）
ギリシアの唯物論哲学者
原子論を基礎とする実践哲学を説いたエピクロスは、真の快樂とは放埒な欲望の充足ではなく、むしろ欲望から開放された平静な心境のうちにありと言っています。これは現代にも通じる清貧の教えといえるでしょう。

◆2月課題予告（行書）
慈善は
家庭から始まる
イギリス

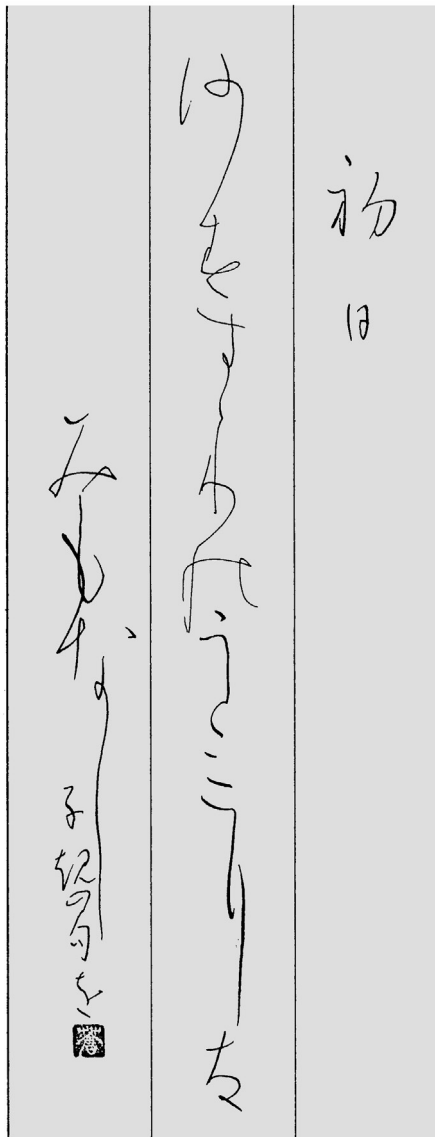
準初段から六段まで

新入から1級まで

〔解説〕



初日さす硯の海に波もなし

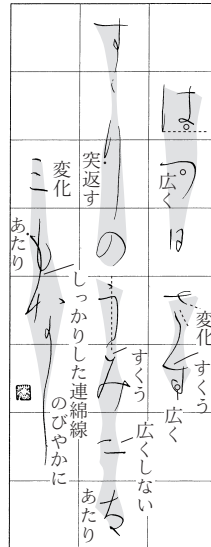


おぎ 荻 田 蒼 仙 書

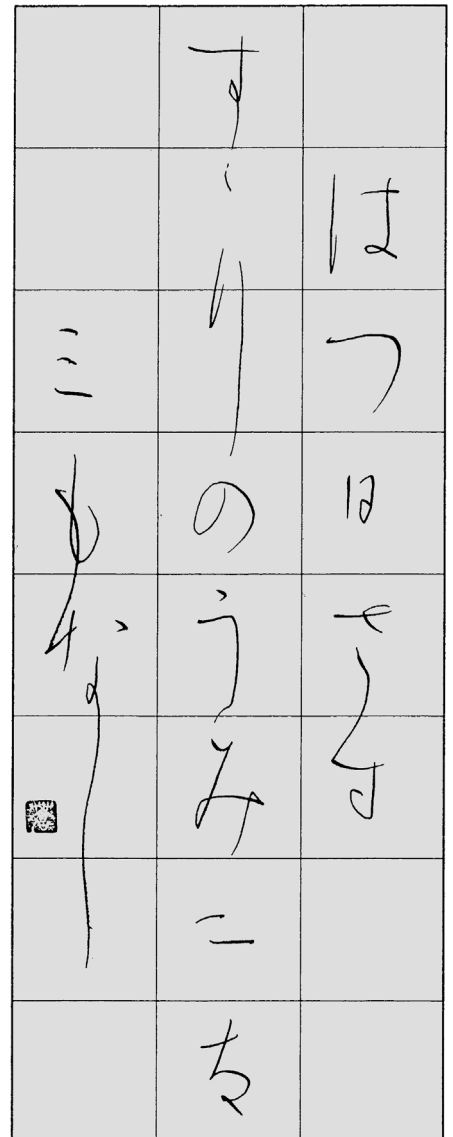
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会段位用紙

〔解説〕



初日さす硯の海に波もなし



おぎ 荻 田 蒼 仙 書

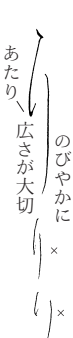
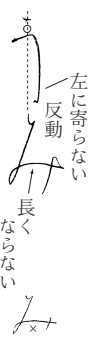
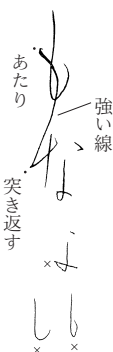
▷用具=自由(黒色に限る)

▷用紙=本会級位用紙

◆2月課題予告

日の春をさすがに鶴の歩み哉

(其角)



初日さす硯の海に波もなし (子規)

〔句意〕硯にたっぷり墨をすって書き初めをする……その硯に初日がいっぱいさしこむという正月の清新で心膨らむムードを感じます。

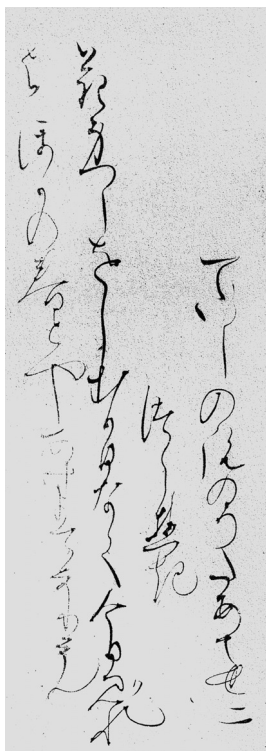
〔級位ワン・ヒント〕

マスの中に納めるための用紙ですが、次の上位の予備的知識を持って頂くために、隣の行との変化、調和等を考えて書いてみました。行の長さ、字の大小もご参考にして下さい。

〔段位ワン・ヒント〕

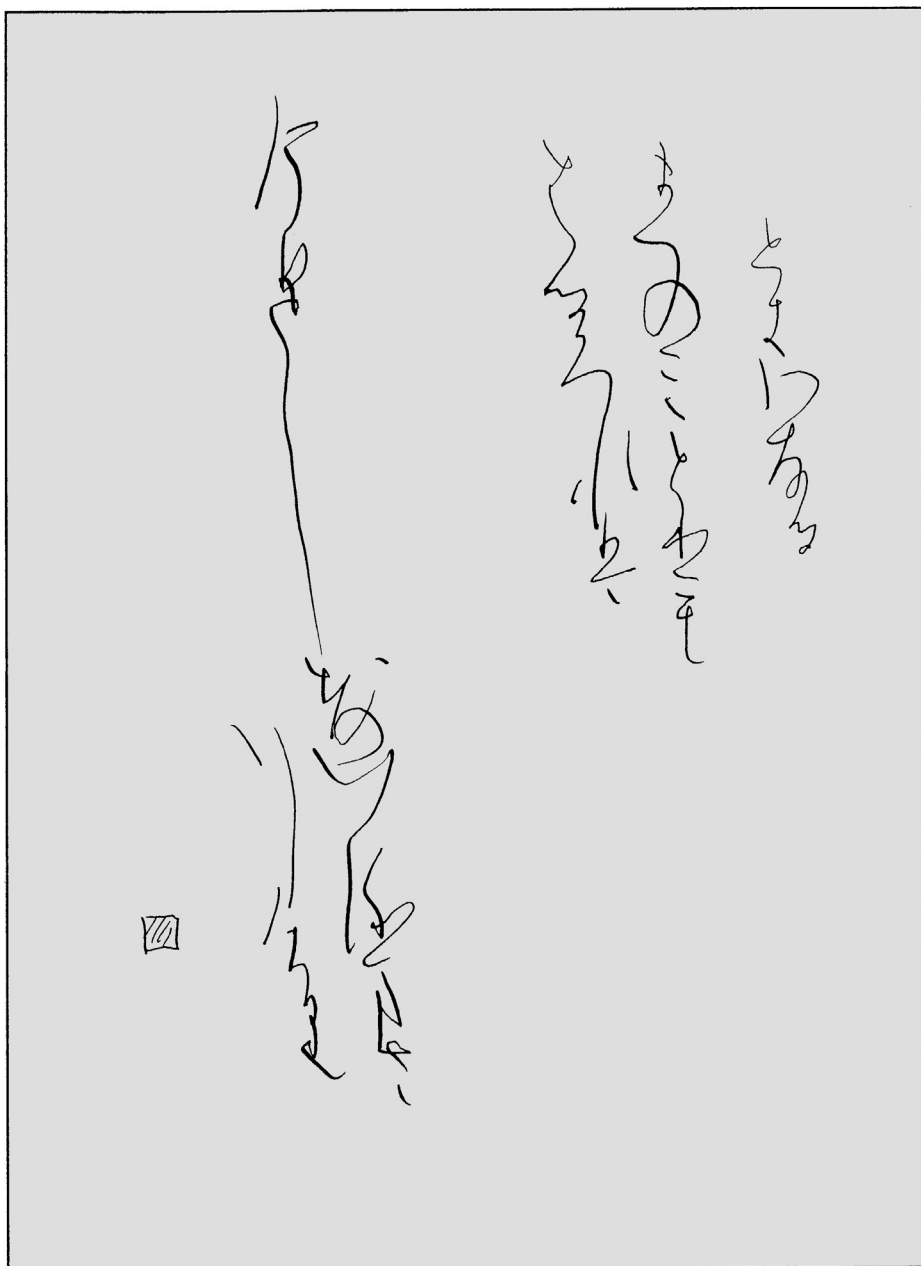
構成の美的表現としての漸増漸減方式を意識し、字間の変化、文字の大小等はいつもの通りです。書く都度、リズム、あたり、つつこみ、太細、中心移動等の中から、一つをしっかりと目標にして書くことが大切です。終わりの「し」が一本調子の縦線なので「子規の句」を入れました。勿論「○○かく」でもよいのです。

〔古筆参考〕



締切り 一月二十五日(必着)

籙瀬舟香書



香紙切

ていしの院のうたあはせに
つらゆき
花みつゝをしむかひなく今日見れ
ばほかの春とやあすはなりなん

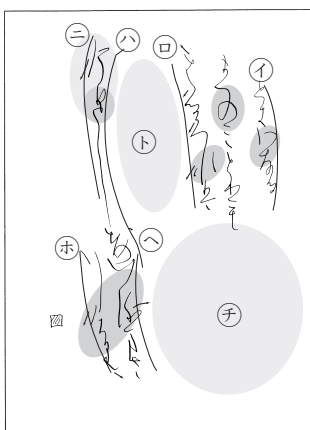
明けましてお目出度うございます。
今年も一年宜敷お願い申し上げます。
昨年に続き古筆を基本とした作品作りを
ご一緒に学んでまいりましょう。
昨年は基本の関戸古今集を勉強しまし
たが、今年はおまじなで楽しい「香紙切」
(小大君筆)を作品の中に散りばめてい
こうと思っております。

源 宗于朝臣

〔歌意〕 一年を通じて色を変えないは
ずの松の緑も、春になると、いっそう
鮮やかに冴えわたる

〔出典〕 古今和歌集(新潮日本古典集成)

〔解説〕



- ・①と②、①と③、②と③、②と④、③と④、それぞれ呼応。
- ・行の中の疎密、墨の動き 注意。
- ・ペン圧のかけ方で疎密を作る。
- ・①④ 大きな間が大切。
- ・の線の方向大切。
- ・「今日とし本」の「日」と「と」をかためて密の部分を作る。

◆2月課題予告

雪のうちに春は来にけり鶯の
こほれる涙今やとくらむ

(古今和歌集)

締切り 1月25日(必着)

真理子さん、ご成人おめでとう。
超おてんばで男の子顔負けだった
貴女も、振袖のよく似合う素敵な
女性に成長されて、ご両親もさぞ
お喜びでしょう。近くに來られた
時は、必ずお立ち寄り下さいね。

真理子さん、ご成人おめでとう。
超おてんばで男の子顔負けだった
貴女も、振袖のよく似合う素敵な
女性に成長されて、ご両親もさぞ
お喜びでしょう。近くに來られた
時は、必ずお立ち寄り下さいね。

◎手本は水性ボールペン使用

作品の出し方

- 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。
- 用紙Ⅱはがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。
- 用具Ⅱはがき、横書き課題ともに自由。(黒色に限る)
- 両課題とも、書体変換は自由です。

横 書 き 課 題

おか じま けい せん
岡 嶋 桂 川 書

現存最古の史書「古事記」は、民間
伝承の原型となる特徴をもつ。

秋田県大館市 氏 名

※手本は、つけペン使用。 ★三行目は、指定の地名と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り 1月25日 (必着)



〔出典〕 孔子廟堂碑（626～633） 〔筆者〕 虞世南（558～638）
 〔読み〕 欽めいせいてん 参天（両地にして、）



〔読み〕 山明らかに雪夜晴れり
 〔大意〕 山は明るくなって雪が夜になってやんだ。



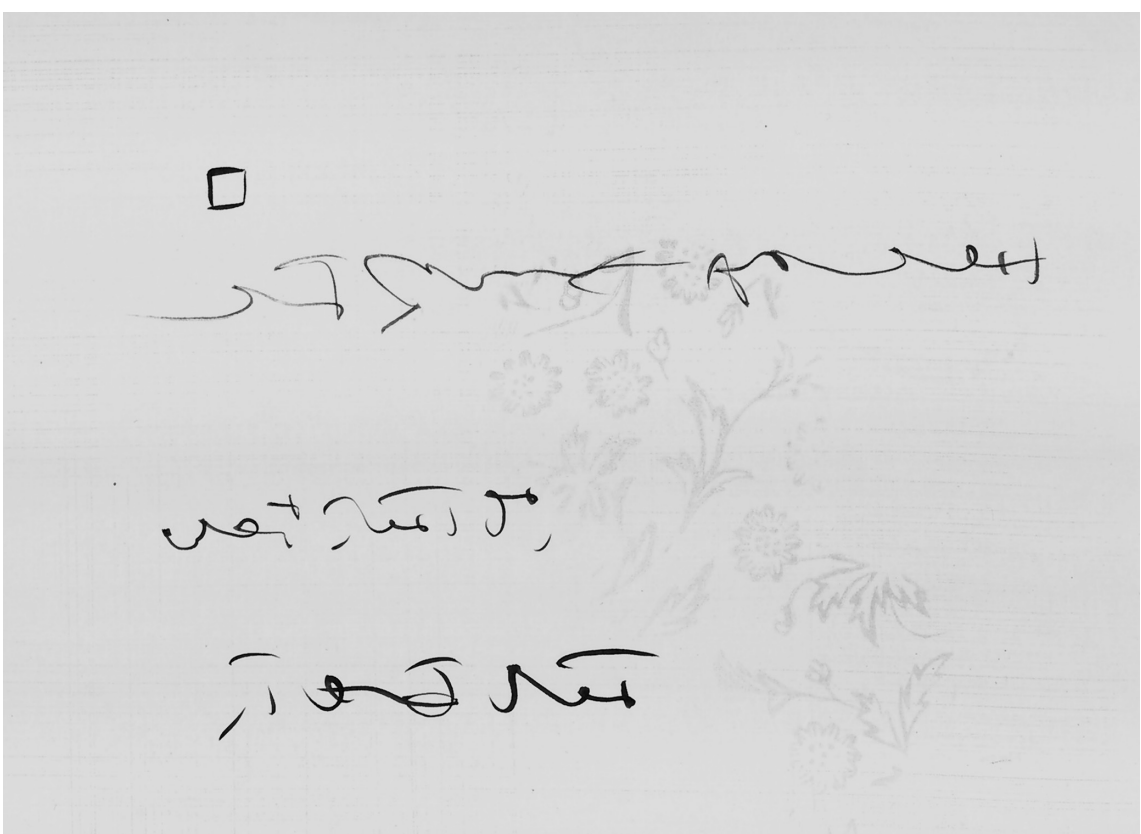
準初段から師範まで
 奥村暢之 臨

新入から1級まで（楷書）
 中村竹童 書

一般部毛筆かな課題

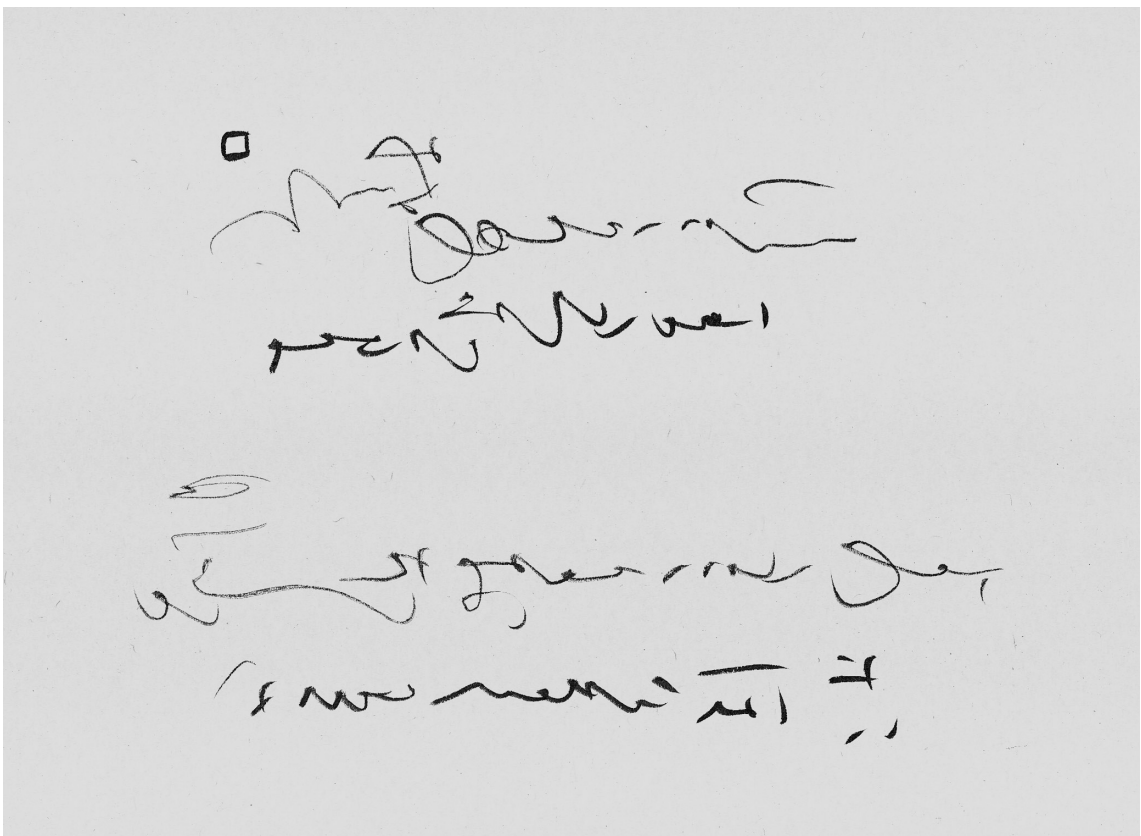
締切り 1月25日 (必着)

新入から1級まで



浅井 機山先生書

準初段から師範まで



初夢に大なる毬を買ひけり

〔出典〕 阿部みどり女

〔句意〕 新年になって初めて見た夢に大きな毬をもらったというのである。幼時に立ちかえった楽しい心弾む初夢なのである。

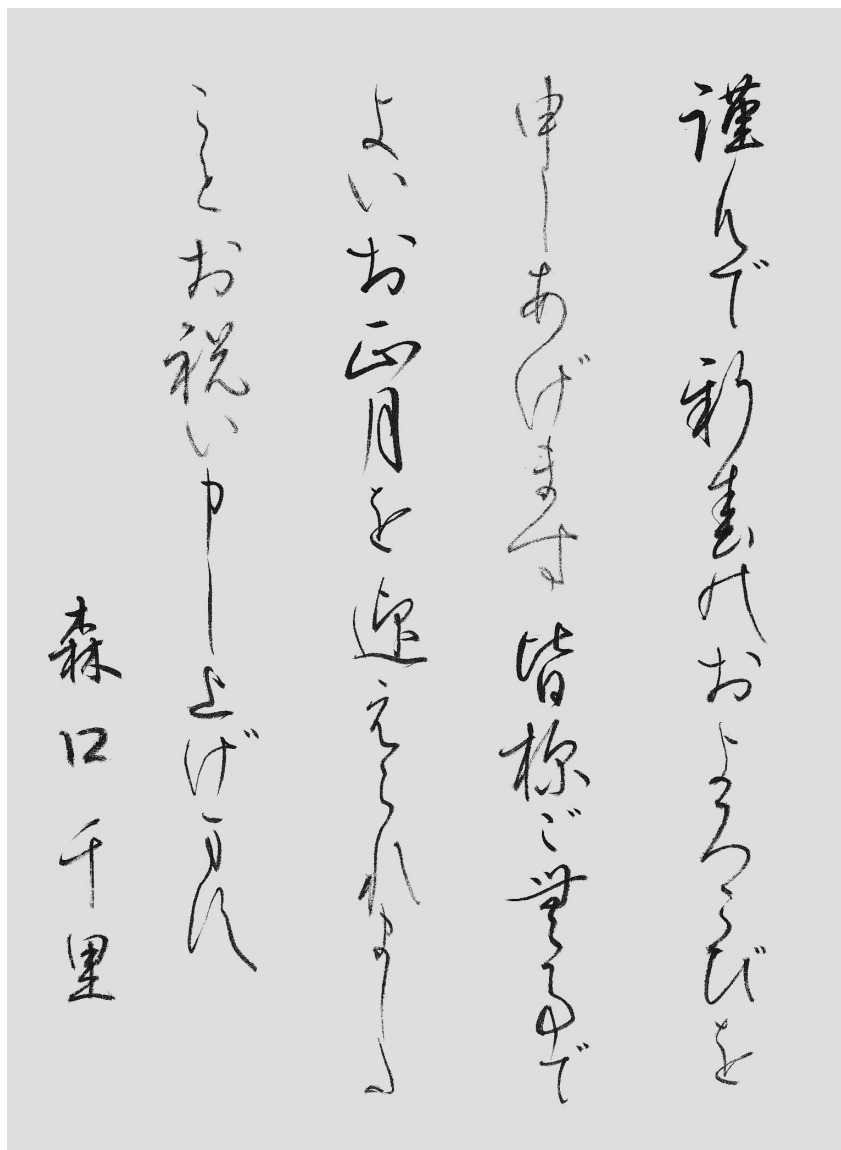
わが立つ袖に墨染の袖
おほけなく世の民におはふかな
わが立つ袖に墨染の袖
おほけなく世の民におはふかな

〔出典〕 百人一首 (95) 前大僧正慈円

〔歌意〕 身のほどもわきまえず、私はつらいこの世を生きる人々におおいかけることだ。この比叡の山に住みはじめたばかりの私のこの墨染の袖を。

一般部毛筆細字課題

一般部毛筆条幅課題



半紙 (334mm × 240mm)

書の 鳳 高 野 平

- 謹んで新春のおよろこびを
申しあげます。皆様ご無事で
よいお正月を迎えられました
ことお祝い申し上げます
- 印で墨つぎしました。
- 〔条幅・細字作品の出し方〕
新入から師範まで、どなたでも出書できます。
成績(天位5等)は、評価により毎月変わります。
書体変換、変体仮名の交換は自由です。

(ご自分の氏名)

〔条幅解説〕「松無古今色」竹有上下節ー松に古今の色無く、竹に上下の節有り」という対句ですが、五字一行として別々によく揮毫されています。
今回は久しぶりに、先月予告どおり一行書きにしてみました。いつもより太目の筆の方が書きやすいでしょう。一字目と三字目に墨をたっぷりつけます。大小の変化にも留意して下さい。落款に揮毫した時期「戊子新春〇〇書」と入れてみましょう。この機会にいろんな落款の書き方を学んで下さい。

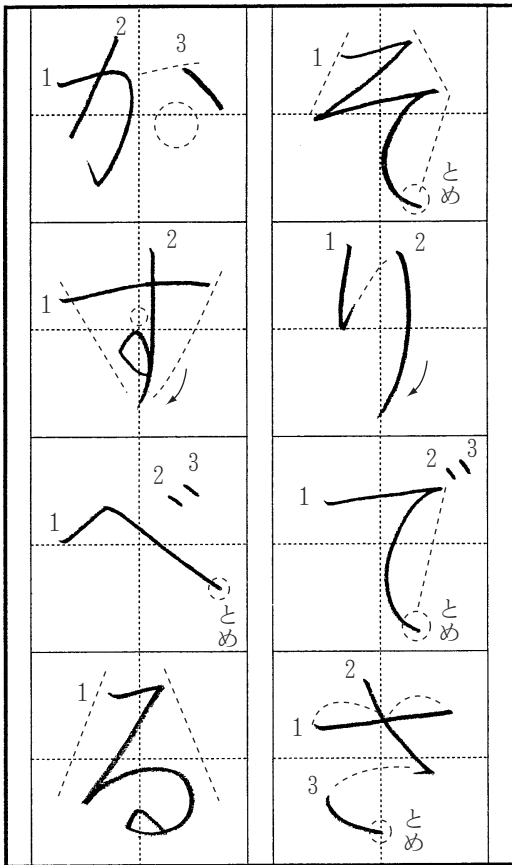


締切り 一月二十五日(必着) 半切 (一三六cm × 三五cm)

新井清泉書

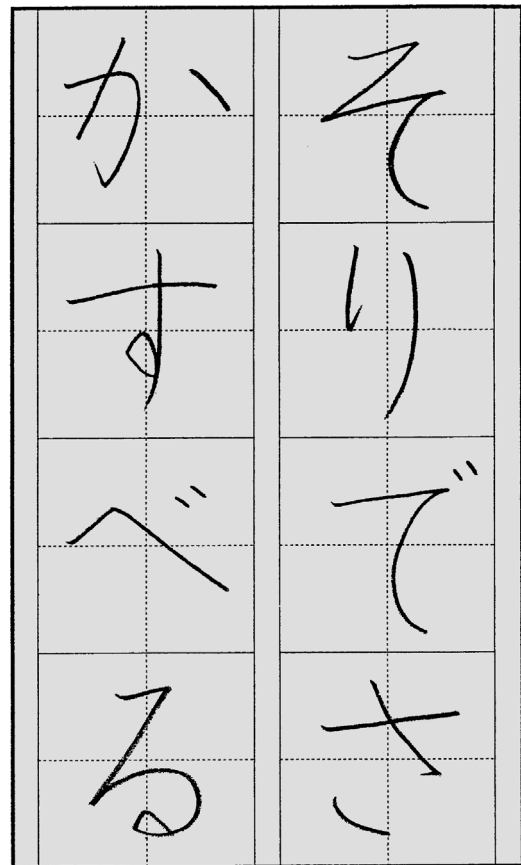
まつにここんのいろなし
松無古今色
〔大意〕松は常緑樹で、一年青々としてその色を変えることはない。
常住不變の形容。(禪語・槐安國語)
初出品の方へ
支部名・会員番号・
姓名・毛筆漢字成績
を、作品左下に必ず
お書き下さい。

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)



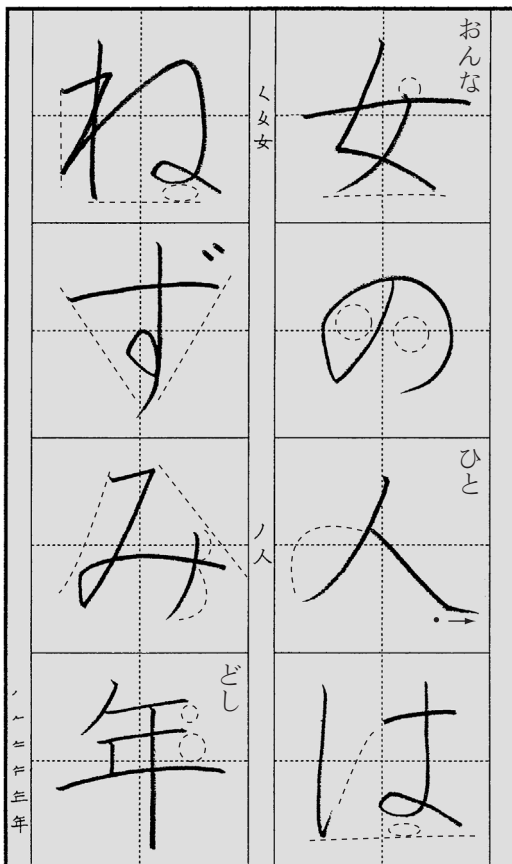
◆ひらがなトレーニング(なぞってかいてみよう)

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。



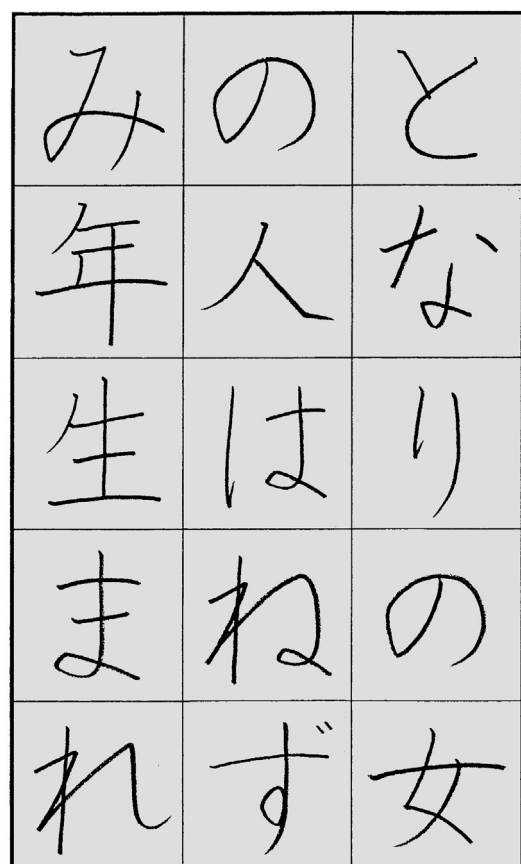
よ
う
年

幼・小一年 三宅容玉書



新入1級

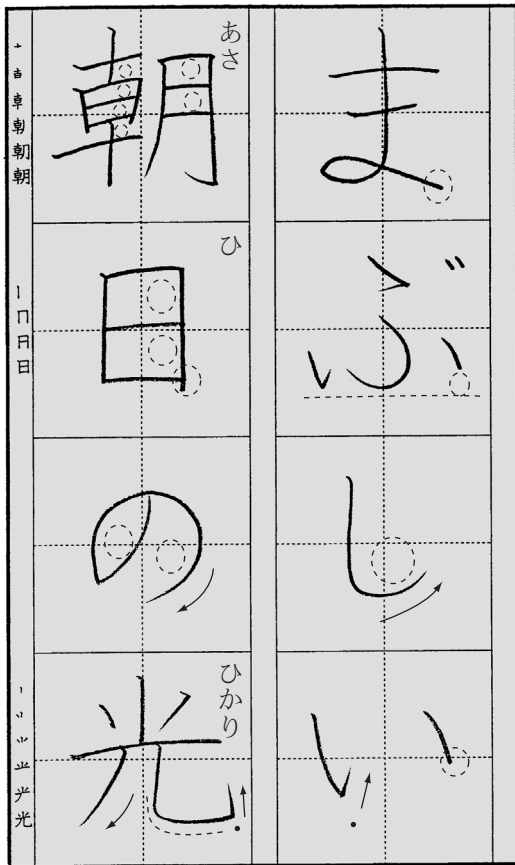
(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。



小
一
年

準初段以上

〈ようぐ〉自由(黒色にかざる)

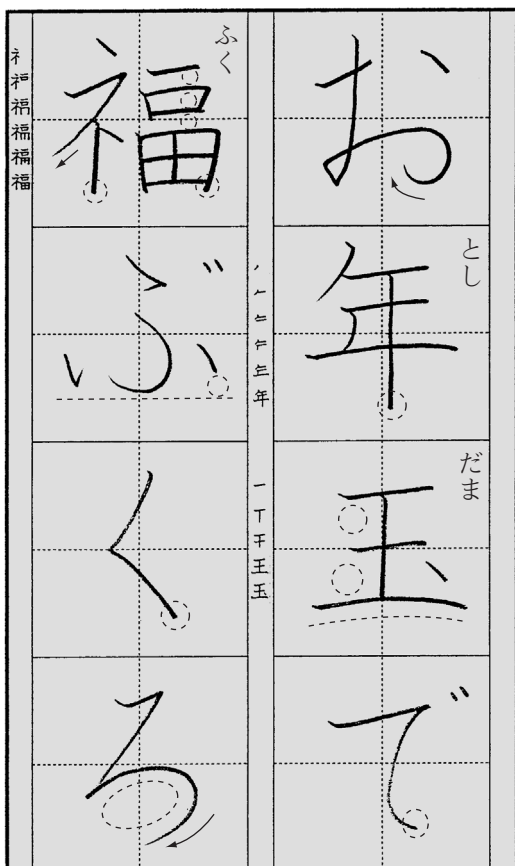


新入〜1級

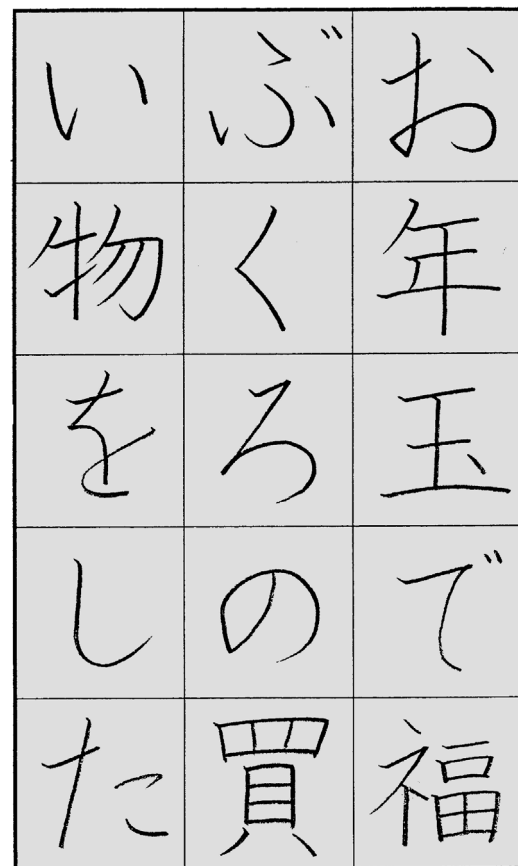


小二年

準初段以上



新入〜1級



小三年

準初段以上

(注) えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

小二・小三年 古田瑞苑書

小四年

事	多	百
が	く	人
目	覚	一
標	え	首
だ	る	を

準初段以上

新入1級

を	百
覚	人
え	一
る	首

〈用具〉自由(黒色に限る)

小五年

な	明	犯
年	る	罪
を	く	の
願	平	無
う	和	い

(全員)

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説(よく見て習いましょう)

平	犯
和	罪
年	無
願	月

小四以上 尾郷翠光書

〈ようぐ〉自由(黒色に限る)

期	キ	希	キ
待	タイ	望	ボウ
胸	むね	春	はる
		訪	おとず(れる)

解説(よく見て習いましょう)

小六年

に	訪	希
胸	れ	望
お	て	の
ど	期	春
る	待	が

(全員)

◎お手本は、15マスはつけペン、8マスはデスクペンで書きました。

乗	を	不
り	養	屈
越	い	の
え	逆	精
る	境	神

中二・三年 (行書)

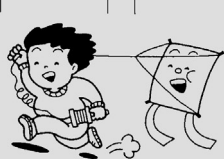
中一年 (楷書)

に	を	自
突	貫	分
き	い	の
進	て	意
む	前	志

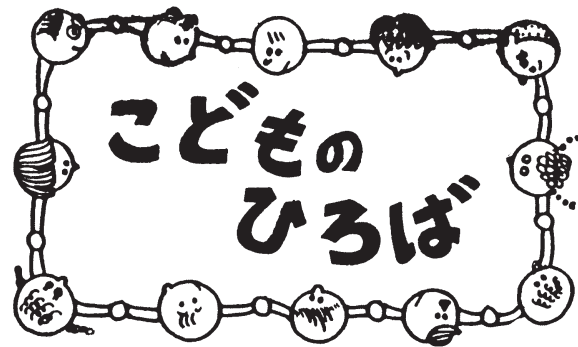
▼小三年以下の課題

くり もと れい こう 書
栗 本 麗 光

天 ^{てん}	風 ^{かぜ}	た	集 ^{あつ}	広 ^{ひろ}
ま	に	こ	ま	場 ^ば
で	乗 ^の	上 ^あ	っ	に
上 ^あ	っ	げ	て	み
が	て	合 ^{がっ}		ん
れ		せん		な



◎お手本はえんぴつ使用



しめきり 1月25日(必着)

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

▼小四年以上の課題

か とう えい げつ 書
加 藤 映 月

縁 ^{えん}	大 ^{だい}	お	神 ^{じん}	晴 ^は
起 ^ぎ	吉 ^{きち}	み	社 ^{じゃ}	れ
が	だ	く	に	着 ^ぎ
い	っ	じ	初 ^{はつ}	姿 ^{すがた}
い	た	引 ^ひ	も	で
ね	よ	い	う	
		た	で	
		ら		



◎お手本はつけペン使用

◇作品の出し方

- 一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
- 一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
- 一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
- 一、低学年は四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
- 一、成績は評価により毎月変わります。
- 一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。貼っていない方は新入とみなします。



小 二 年

小 一 年

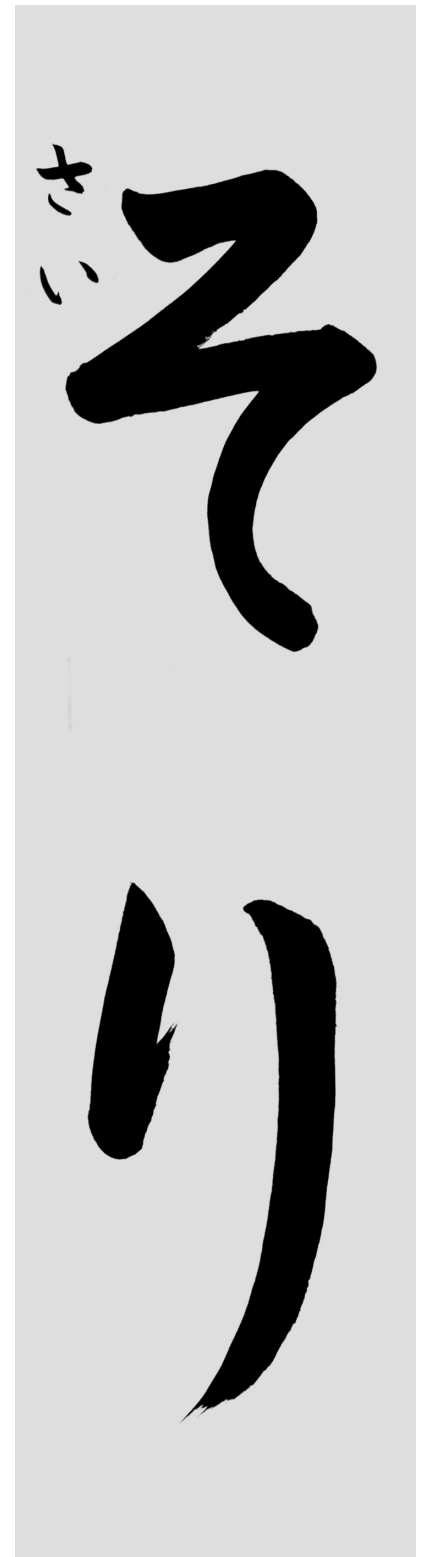
よ う 年



玉 樹 小 華 書



玉 樹 小 華 書



玉 樹 小 華 書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

小 五 年

小 四 年

小 三 年

小五 平和な年

水野香竹書

小四 百人一首

水野香竹書

小三 お年玉

水野香竹書

注…コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。

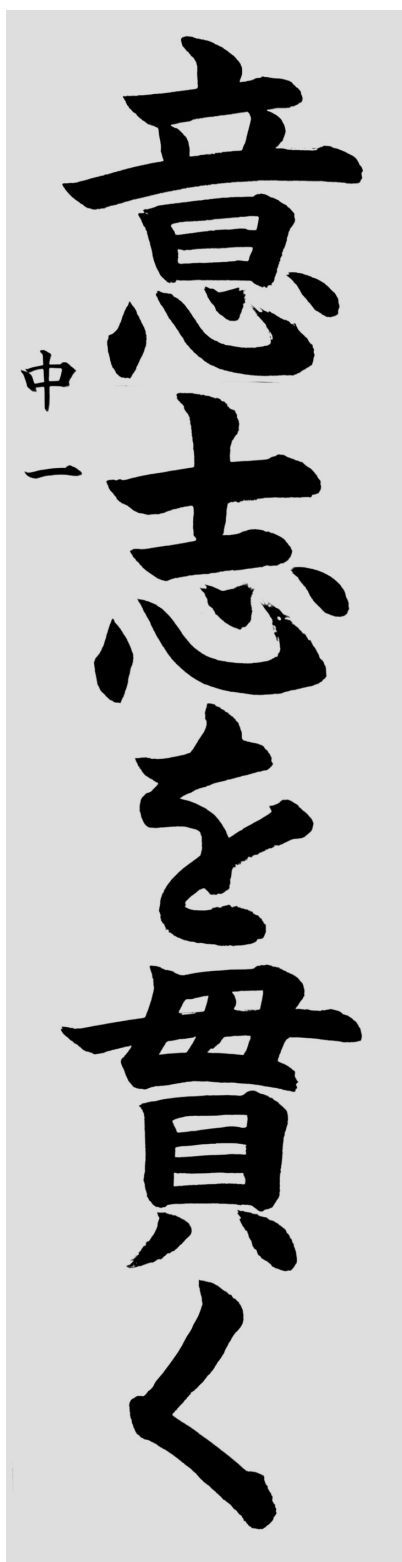
中二・三年

中 一 年

小 六 年



奥村 暢之 書



奥村 暢之 書



奥村 暢之 書

注：コンクール作品は月例競書と兼ねる事ができません。
両方に出品される方は、二枚お送り下さい。

◆ 1月締切りの課題は、「全国書道コンクール」に合わせて、半切4分の1
(68cm×17.5cm)に書くか、いつものように半紙に書いてもよろしい。